

バロック室内楽の楽しみ

～トリオ・ソナタの名曲を集めて～

9/28(金) 18:30 開演(18:00開場)



曲目

ヘンデル：トリオ・ソナタ ロ短調 op.2-1

ロカテッリ：トリオ・ソナタ ホ長調 op.5-3

フェスティング：トリオ・ソナタ ホ短調 op.6-4

ルクレール：音楽の愉しみ第2集 ト短調 op.8-2

出演者

塩嶋 達美 (フラウト・トラヴェルソ)

ジン・キム (バロック・ヴァイオリン)

岡田 龍之介 (チェンバロ)

料金

3,500 円+1ドリンク
(税込・ワインまたはリンゴジュース)

問い合わせ・申し込み

松葉屋家具店

tel.0120-55-2346 10:00～18:00 火・水定休

e-mail: since1833@matubaya-kagu.com

HP: <http://matubaya-kagu.com/>

場所：松葉屋家具店 〒380-0841 長野市大門町 45

プロフィール

塩嶋 達美 (フラウト・トラヴェルソ)



明治学院大学英文科を卒業後渡米。ヴァーモントにてマルセル・モイーズ氏に師事。後フロリダ州タンパに住み、指導の傍ら各地で演奏。セントピーターズバーグのサマーコンサートシリーズ等に出演。

帰国後は信州を中心に静かに活動を続ける。18世紀初頭からの伝統的なフルート数種を一通り学び、独自の演奏スタイルを深めつつある。

2005年11月にはオーケストラ・アンサンブル金沢のソリストとしてツアーに参加。長野県内ほか、4箇所でもモーツァルトの協奏曲を演奏し一好評を博す。

岡田龍之介氏とは1990年来、信州を中心に共演を続けている。

ジン・キム (バロック・ヴァイオリン)



国際的に活躍する韓国のバロック・ヴァイオリン奏者。S. クイケンに師事し、1993年以来、彼の率いるラ・プティット・バンドの演奏会、CD録音に定期的に参加し、音楽的に深い影響を受ける。1990年、ブルージュ国際古楽コンクールに入選、1992年、山梨古楽コンクール第二位（第一位なし）受賞。同年、栃木[蔵の街]音楽祭受賞。現在アメリカ在住、国内各地でマスタークラスやレクチャーコンサートを行い、各地のオーケストラからコンサート・ミストレスとして招かれる。古楽アンサンブル「ムジカ・グロリフィカ」を創設し、内外の音楽家達と活発に交流する一方、2002年以来韓国古楽協会の発展に尽力。彼女はまた故郷の光州にてMBCTVにより「著名な50人」の一人に選ばれ、2015年には彼らを記念して「Hope to hope」と題する本が出版された。近年では様々なメディア・アーティストやジャズ・ミュージシャンとのコラボレーションや、J.S.バッハがその昔ライブソビヒで行ったようなカフェ・ハウスでのコンサートなど、様々なスタイルの演奏活動を展開している。

岡田 龍之介 (チェンバロ)



慶應義塾大学、東京藝術大学卒業、藝大大学院修了。チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。全国各地で演奏活動を行い、F. アゴ스티ーニ、S. クイケン、D. プリュッヘンら国内外の優れたバロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める。これまでにアリオン・レクチャー・コンサート、栃木「蔵の街」音楽祭、目白バロック音楽祭、北とぴあ国際音楽祭などと・横浜バロックシリーズ、金沢史跡コンサート、韓国ソウル国際音楽祭、NHK-FM などに出演。第13、23回山梨古楽コンクール審査員。ソロ CD「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選盤)をはじめ10枚のCDをリリース。現在洗足学園音楽大学講師。また昨年まで31回開催された都留音楽祭でも講師を務めた。古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」、「ヴィアッジョ・ムジカ・レ」主宰。FM鴻巣「クラシックの散歩道」パーソナリティ。「ザロモン室内管弦楽団」指揮者。